

令和4年度シラバス（数学A）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	数学A	単位数	2単位	学年（コース）	1学年
使用教科書	最新 数学A（数研出版）				
副教材等	3ROUND 数学I+A（数研出版）				

1 学習目標

基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

2 指導の重点

- 進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、
- ①数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を育てる。
  - ②数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
  - ③更にそれらを的確に判断し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てる。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における生活や学習の基盤となる基礎的・基本的な「知識・技能を身につけるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合理的・論理的に考えを進めるとともに、互いの知的なコミュニケーションを図るために重要な役割を果たす「思考・判断・表現」を伸ばすために、根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考えることや、言葉や数・式・図・表・グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的活動を通して数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断するようにしている。</li> <li>自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、考察・処理して、その過程を振り返って得られた結果の意義を考えている。</li> </ul>

4 評価規準と評価方法

評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の到達度を1：1：1の比重で行う。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における生活や学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を身につけるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合理的・論理的に考えを進めるとともに、互いの知的なコミュニケーションを図るために重要な役割を果たす「思考・判断・表現」を伸ばすために、根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考えることや、言葉や数・式・図・表・グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的活動を通して数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断するようにしている。</li> <li>自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、考察・処理して、その過程を振り返って得られた結果の意義を考えている。</li> </ul>
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート等の提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート等の提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート等の提出物などの内容の確認 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	時間	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	3	教科書 副教材	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。  確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	a, b, c	授業の取り組み 提出物
5	1節 場合の数	5	教科書 副教材		a, b, c	中間調査 授業の取り組み 提出物
6	1節 場合の数 2節 確率	6	教科書 副教材		a, b, c	期末調査 授業の取り組み 提出物
7	2節 確率	7	教科書 副教材		a, b, c	授業の取り組み 提出物
9	2節 確率	7	教科書 副教材		a, b, c	課題テスト 授業の取り組み 提出物
10	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	7	教科書 副教材	三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	a, b, c	中間調査 授業の取り組み 提出物
11・12	2節 円の性質	8	教科書 副教材	円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	a, b, c	授業の取り組み 提出物
1	3節 作図	5	教科書 副教材	作図についての理解を深め、作図の各過程において平面図形のどの性質を用いているかを考察できるようにする。	a, b, c	課題テスト 授業の取り組み 提出物
2・3	4節 空間図形	7	教科書 副教材	空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	a, b, c	学年末調査 提出物

## 6 課題・提出物等

- ・各単元終了後に小テストを行う。
- ・定期考査時に、それまでの取り組みがわかるノート等の提出を課する。
- ・長期休業中の課題は別途指示する。

## 7 担当者からの一言

- ・授業を大切にしよう。授業では基本的な用語の説明と問題演習を基本として様々な活動しながら、クラス全体で学習していく。授業をおろそかにしたとき、その後一人で理解することはとても難しい。授業中に内容を理解できるよう。積極的に参加しよう。
- ・家庭学習をしよう。知識の定着・より深い理解のためには、一人で落ち着いて考える時間を家庭でとろう。
- ・計算力をつけたい。計算力は問題を解いたり、新しい概念を理解する上で欠かすことのできない力である。自分に合った問題集を購入し、毎日5分からでも継続して取り組んでもらいたい。